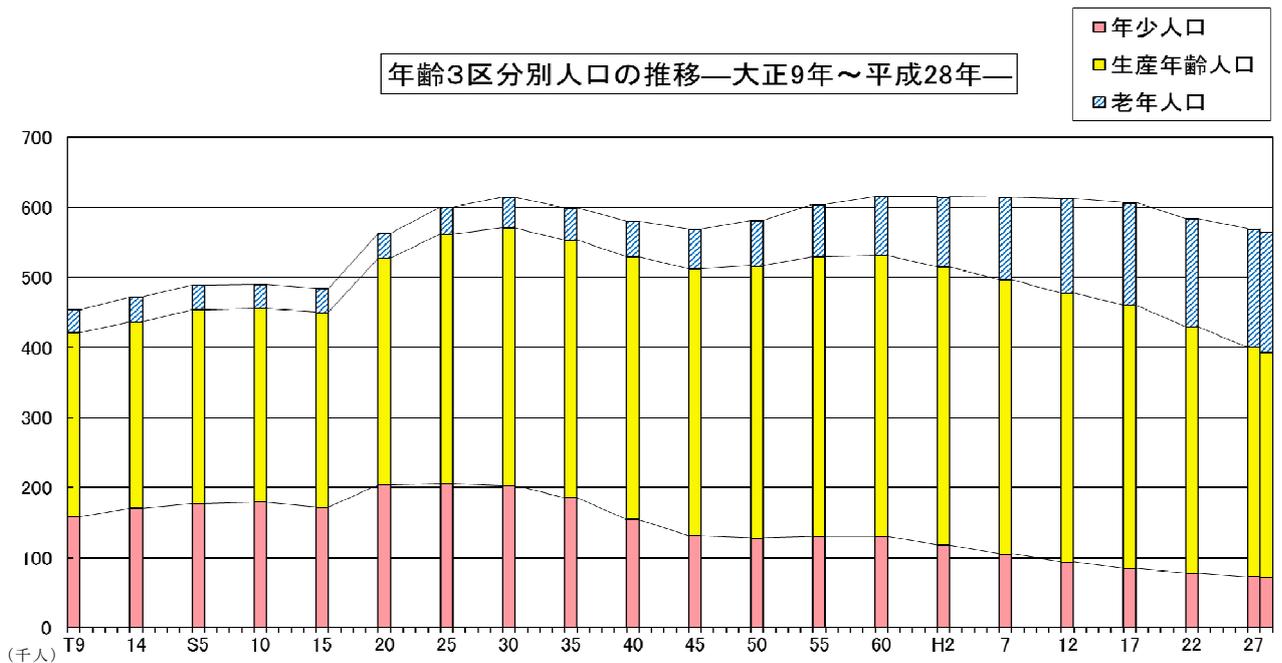
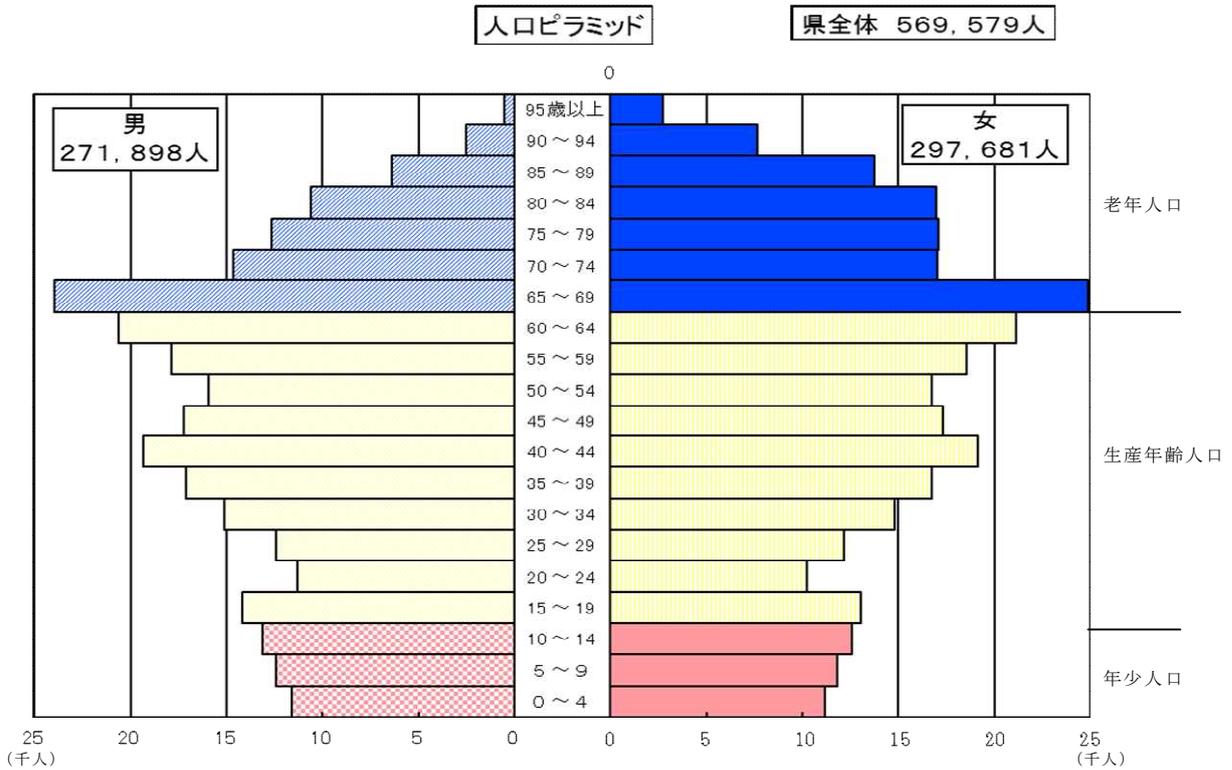


1 鳥取県の人口構成

老年人口割合は30.3%となり過去最高、年少人口割合は12.9%で昨年と同水準

鳥取県の人口を年齢3区分別にみると、年少人口は72,754人で前年と比べ931人減少、生産年齢人口は320,932人で5,369人減少、老年人口は171,530人で2,438人増加している。

人口構成割合は、年少人口は12.9%で昨年と同水準、生産年齢人口は56.8%で0.5ポイント低下した。老年人口は30.3%で0.6ポイント上昇し、過去最高となった。



注) 大正9年から平成27年までは国勢調査値、平成28年は平成27年国勢調査を基準として推計したものである。

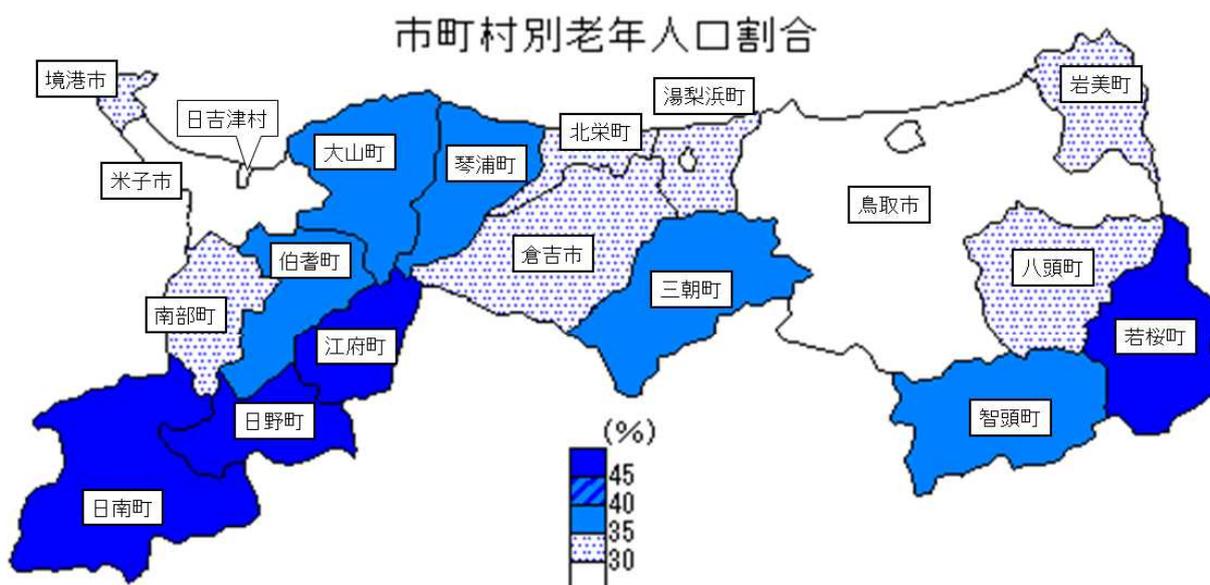
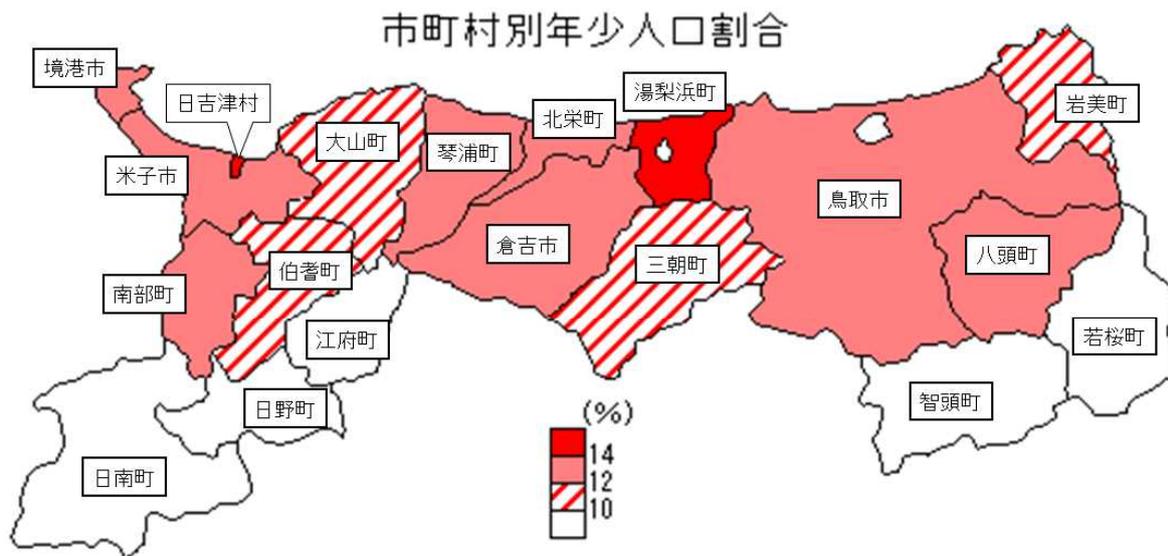
2 市町村の人口構成

全市町村で老年人口割合が上昇

市町村の人口を年齢3区分別にみると、年少人口割合は日吉津村が14.8%と最も高く、次いで湯梨浜町が14.2%、米子市が13.6%、鳥取市が13.3%などとなっている。前年と比べると、智頭町、三朝町、湯梨浜町、北栄町、伯耆町及び江府町が上昇、大山町及び日南町が同水準、その他の11市町村が低下している。

老年人口割合は日南町が49.6%と最も高く、次いで日野町が48.2%、江府町が45.8%、若桜町が45.7%などとなっている。前年と比べると、全市町村で上昇した。

一方、生産年齢人口割合は、日吉津村で同水準だったほかは全市町で低下した。



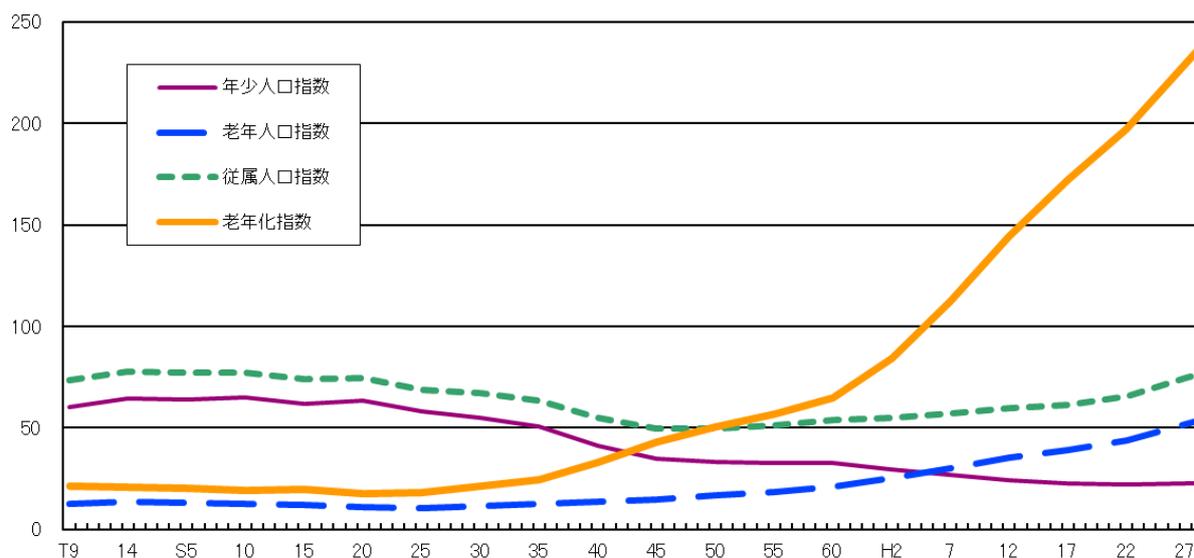
3 年齢構成指数

老年人口指数は53.4、老年化指数は235.8となり、ともに過去最高

鳥取県の人口を年齢構成指数別にみると、年少人口指数は22.7で前年と比べ0.1ポイント上昇、老年人口指数は53.4で1.6ポイント上昇、従属人口指数は76.1で1.7ポイント上昇、老年化指数は235.8で6.3ポイント上昇した。

老年人口指数及び老年化指数は過去最高となった。

年齢構成指数の推移—大正9年～平成28年



注)大正9年から平成27年までは国勢調査値、平成28年は平成27年国勢調査を基準として推計したものである。